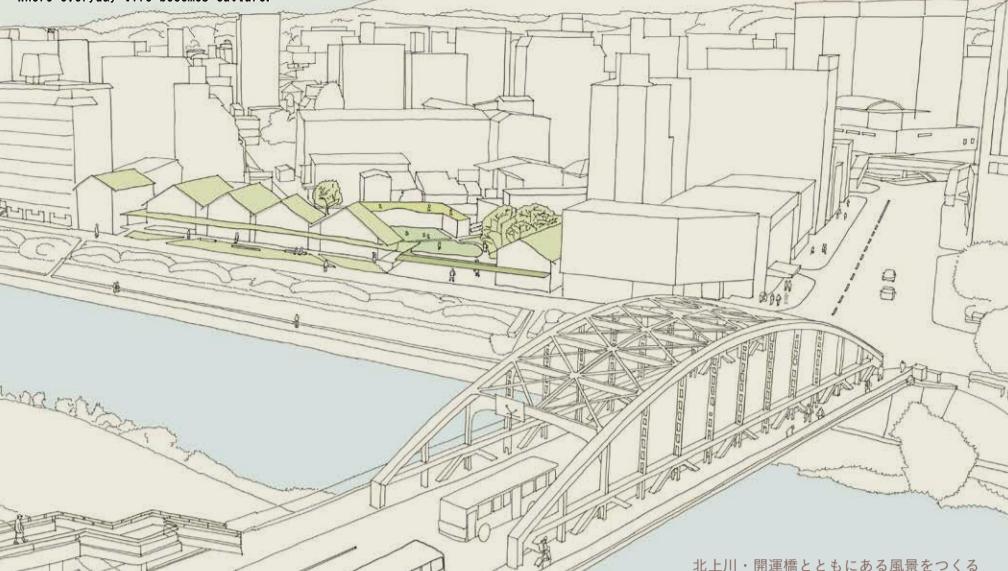


## HIBI no Tamoto | 日々の袂

Where everyday life becomes culture.



開発方針 - Development Concept

## HIBI no Tamoto | 日々の袂

「日々の袂」は、日常の中の「境」に立つ場所。人が行き交い、別れ、また出会う。その連なりの中にある穏やかな風景の場所です。開運橋の「橋の袂」という物理的な立地が、今回の開発を通して「日々の袂」になり、暮らしと文化のあわいへ一日常の「はじまり」や「つながり」を象徴する言葉になります。人が集い、語ら、手を動かす日々の響みが、やがてこの地の文化となっていく。そんな生まれた流れを受けとめ、息づく場所を目指します。この場所は、日常と文化がやわらかく交わる場所です。北上川とまちの記憶に根ざしながら、ふだんの暮らしの中にある美しさをあらためて見いだす場所として、開運橋の袂から、静かな文化的流れの形成を目指します。

開発指針 - Development Concept

## 100年変わらないこの場所の景をつくる

盛岡の文化が育んできた他の場所と同様に、本敷地も長い目で価値を生む文化的資産となる景色をつくることを目指しています。そのため、大事にする三つの視点を提示します。



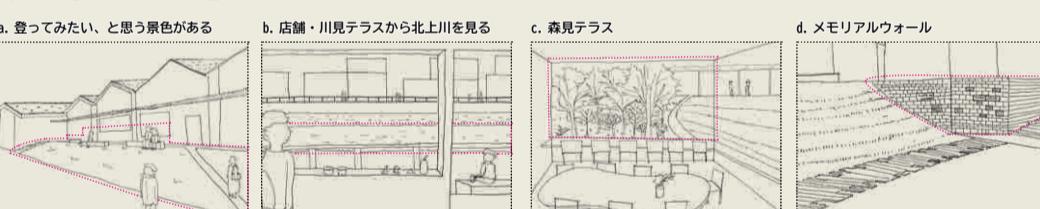
本提案では、北上川や開運橋をより見やすいやがれ、かつ資源としてわかりやすく認知を生む場所が存在することが大切だと考えます。そのため、本提案では、水面を持つ「川辺らしい」断面を採用し、他の場所にはない景色を生み出しています。もちろん建物の入口が道路と同じ高さ関係にあることは、使い勝手上は有効ですが、現状、川沿いの敷地境界から北上川を見る上、堤防の前に視線があります。水面を見るには、もう少し高さがある方が良さそうです。

川沿いとまち側に高低差があることは、それぞれに傾を持つ機会だと考えます。特に今回のよう敷地が広い場合には、まち側の入口と川沿いの入口を上位に使い分けることによって、それぞれを「表」として景色の形成を可能とします。大きな床面積を持つ建築を建てることも可能ですが、本提案ではこの段差の異なる地形の豊かさを建築が吸収して解消することを感じることが出来る大きさとします。

毎年のように、気候変動に起因する豪雨などの災害が報道されるようになりました。そのため、自分たちの敷地で出来ることとして、自然とともに異なる環境を目指します。その取り組みとして、街路樹のような単一植生ではなく、土が豊かな一定程度の大きさを持つ多種多様の森をつくります。ある特定の植物が被害を受けようとも、他の植物が生き残ることができるように成熟した隠れの森環境を目指します。この森の始まりは、市民の方々とともに育て上げていきます。

## あたりまえの風景になっていく日々の袂 | Landscape of "HIBI no Tamoto"

土地の使い方や新たに生まれてくる景色を見ていきます。ひとつひとつの景色が積み重なり、重なり合い、様々な人が利用する場所になっていくことで、人びとの日々に溶け込み、それが盛岡のあたりの風景になることを目指します。



開運橋を渡ると、堤防のような芝生の斜面が見える。斜面や、その上には川を見ながら飲み物を飲んでいる人や、食事をしている人が見える。道路よりも少し土地が高くなっているから、川をより感じられるそうだ。

道路より一段高いテラスになっているので、店舗の中にいても、川の水面がよく見える。寒い日もあるけど、それ以上に眺めが良い。店舗での時間も水の流れを見ていたら、気がついたら時間が経過している。

エントランスで買ったドリンクをテラスで、芝生広場のカフェ空間で、ひとやすみ。視界には、様々な樹種が溢れる森が広がっている。忙い日には、ゆっくりとした時間が流れることが出来る。

芝生広場で遊びました後や、遊び舎での時間を見えた帰りみち、開運橋に向かって歩くと坂を登っていく。その坂で、子どもたちは水遊びや森遊び、芝生でかけっこを楽しんでいる。建物に囲まれて、自分が届きやすいので、大人たちも少しのんびりしている。

「今年の夏は暑い。」毎年の様にそんな日々が続いている。学校帰りに、休日に、子供たちは水遊びや森遊び、芝生でかけっこを楽しんでいる。建物に囲まれて、自分が届きやすいミニ野球をしている。

建物がない敷地境界には、レンガの壁が回っていて、近隣にあった原宿駅のレンガ壁を想起させる。子どもたちがサッカーボールで遊んでいたり、キャッチャーボールで遊んでいたり、芝生の斜面を利用して、追いかけっこしている。

普段はガラス張りの建築に、今日は白い幕がかかる。『なんだろう』と様子を伺っていると、映画の上映会のよう、次第に人が集まって来た。芝生の上では今日は映画会、この前は音楽のイベントもやっていたな。

## イベント時の広場利用イメージ

日常の風景（a～g）に加えて、敷地を適度に道で分節することによって様々な使い勝手を想定します。イベントにより、ある時は敷地全面での利用、またある時は南西の開運橋広場のみでのイベント、その他にも芝生広場のみのイベントなど、様々な利用形態を可能とします。



位置付け - Positioning of Area -

## 駅前の新たな拠点となる“日々の袂”

盛岡市の中心市街地は東西に広がり、人が歩いて暮らす距離感に集まっています。加えて、北上川と中津川、城跡の余白によって、市街地の中でも多くの自然を感じることが出来る稀に見る豊かな場所です。「二度泣き橋」の開運橋が盛岡らしい生活を象徴する西の端と仮定すると、本敷地は、交通拠点である盛岡駅に最も近い場所に位置し、北に材木町、南の清水町、東の城跡やバスセンターなどの盛岡の活動の「袂」と言える場所に位置しています。

計画立案時 - Before Planning

## 敷地特性

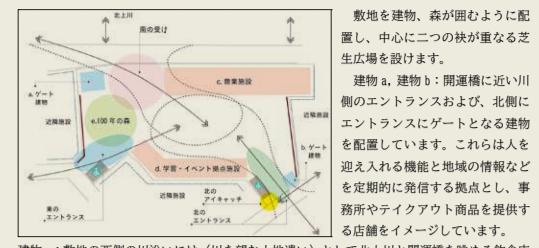


大勢の人が歩く大通りや、北上川沿いの遊歩道から一步入ったところであるこの敷地。少し距離があるものの、周囲の道から観察することは出来る絶妙な立地にあります。

敷地は、南側の開運橋から、北側は児童センター前の道路から不自由なく見ることができます。東側は開運橋を方面から歩いてきた人が区画道路の先に、西側は材木町通り方面から歩いてきた人が敷地の角を垣間見ることができます。これらの接点を大切にします。それぞれ人の流れを引き込むことに加えて、視認性をより高める空間操作をすることで、毎日ここを歩きたい、初見の人でも行ってみたい好奇心を驅り立てるようにエントランス空間と奥に見える景色を組み上げています。川沿いの道路と、まち側では約2.5メートルの高低差を活かし、人々の活動が自然と一体となるような〈高低差を利用した土地遣い〉を目指します。

計画方針② - Concept Diagram

## 施設配置ダイアグラム



敷地を建物、森が囲むように配置し、中心に日々の袂が重なる芝生広場を設けます。

建物 a、建物 b：開運橋に近い川側のエントランスおよび、北側にエントランスゲートとなる建物を配置しています。これらはを迎える機能と地域の情報などを定期的に発信する拠点とし、事務所やテイクアウト商品を提供する店舗をイメージしています。

建物 c：敷地の川沿いには〈川を望む土地遣い〉として北上川と開運橋を眺める飲食店や商業施設を、建物 d：東側には多世代の人が使える図書館のような施設を。イベントなどを実施しつづける小学生だけではなく、中高生が来ること、生涯学習としての大人の学び場になることもあります。また、南側には〈100年の森〉を。建物 dと森 eは、近隣の住居と距離を持つ働きをします。訪問者は基本徒歩を想定し、敷地には駐車場を設げず、近隣のクロスストラスなどを利用してもらうことで、敷地を最大に使いつつ、ゆとりある土地利用を基本とし、盛岡の袂を目指します。

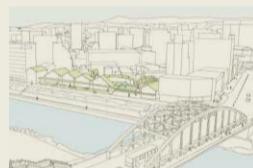
平面図 Plan s=1:400(A3)

## 施設配置イメージ



## 好奇心を驅り立てる景色をつくる

北上川・開運橋とともにある盛岡の風景をつくる。草屋根の三角屋根が並び、奥に芝生広場が広がっていることが出来る。どこからでも、常に目に入る場所だからこそ、その接点を大切に作り上げています。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。盛岡市内に残る数々の文化的な建築物のように、密度が高く、丁寧な仕事や気遣いの光る、アイコニックな空間を目指します。

## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。

北上川・開運橋とともにある盛岡の風景をつくる。草屋根の三角屋根が並び、奥に芝生広場が広がっていることが出来る。どこからでも、常に目に入る場所だからこそ、その接点を大切に作り上げています。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切なことがこぼれ落ちていないないように、大事にしていく基盤となる考え方です。



## 日々の袂の景観形成 | HIBI no Tamoto Design Basic Idea

この敷地で形成する空間の基本となる方針を、まずは6つ掲げています。高さや色彩などで表現できることはありますが、大切な